

講義科目名称： 初等教科教育法（図画工作）

授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3	2	選択
担当教員			
木村 直人			
月2			
添付ファイル			

科目の概要	小学校の図画工作科の内容と指導法について具体的な例に即しながら考え、主体的な授業づくりができる基礎・基本を学ぶ。
授業の内容	<p>第1回 全体ガイダンス （・造形表現教育の意義 ・指導者が大事にしたいこと ・自尊感情を培う）</p> <p>第2回 子どもの造形表現の特性 （・発達段階と表現 ・図画工作科におけるスキルと発達段階 ・見て描く表現）</p> <p>第3回 「絵に表す」を主とした指導① （・水彩絵の具の使い方 ・水彩絵の具を用いたさまざまな表現）</p> <p>第4回 「絵に表す」を主とした指導② （・パステルの使い方 ・パステルを用いたさまざまな表現）</p> <p>第5回 「絵に表す」を主とした指導③ （・版画の種類 ・版画表現のさまざまな技法 ・マティエールについて）</p> <p>第6回 「立体に表す」を主とした指導《彫塑》 （・粘土を使った彫塑表現 ・粘土を利用した表現）</p> <p>第7回 「工作に表す」を主とした指導 （・箱庭的世界を作る作品 ・廃材で作る作品）</p> <p>第8回 素材を活かした作品 （・素材の特性を活かす ・さまざまな素材を確保する）</p> <p>第9回 用具の使い方と指導 （・効果的な安全性の指導 ・さまざまな用具のノウハウ）</p> <p>第10回 造形遊びの授業と作品展 （・造形遊びの意義 ・造形遊びのいろいろ ・作品展の企画と演出）</p> <p>第11回 鑑賞の授業 ～パワーポイントを利用した有効的な鑑賞の授業～ （・図画工作科における鑑賞授業の意義 ・アート作品の鑑賞と子どもの作品の鑑賞）</p> <p>第12回 図画工作科の評価 （・アート鑑賞力と評価 ・何を評価するのか ・肯定的評価力を培う）</p> <p>第13回 学習指導案の書き方① （・学習指導案の基礎基本 ・他教科との違い ・指導案作成演習）</p> <p>第14回 学習指導案の書き方② （・グループでの学習指導案作成演習）</p> <p>第15回 指導案発表 （・グループ別模擬授業）</p>
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校図画工作科の授業を指導するための基礎・基本となる知識と授業構成力を身につける。 ・図画工作科に対する興味・関心を高めることで、授業を主体的につくり上げる意欲を持つ。 ・図画工作科の評価の考え方を理解し、図画工作科の授業を通して、子どもの自己肯定感・自尊感情を育てていく意識を持つ。
授業の方法	主に参加型を加味した講義。簡単な実習とグループワークやグループ発表も取り入れる。
成績評価の方法	毎授業時間最後に行う小レポート課題（80%） 模擬授業（20%） →小レポートが授業時間内に完成しない場合は次回はじめに提出可
教科書・テキスト	小学校学習指導要領解説 図画工作編（平成29年6月 文部科学省）
参考書	小学校学習指導要領（平成29年3月告示 文部科学省） その他、授業内容に合わせて適宜紹介する。
授業時間外の学修について（事前・事後学習について）	日頃から図画工作、アート作品に関心を持ち、日常で自分が出会う様々なものが「教材として応用できないか」という意識を高めておくこと。
履修上の留意事項	発言（意見、感想）を求めらるので、臆せず、積極的に発言することを期待する。
オフィスアワー	質問や相談がある場合は、授業終了後またはE-mailにてその旨を申し出ること。別途時間を設けて対応する。
担当教員への連絡方法	授業終了後に直接連絡方法を聞くか、教務部を通してE-mail等の連絡方法を聞く。

その他	配布プリントファイル用クリアファイル（A4）を1冊用意すること。
-----	----------------------------------